

西根・松尾地区中学校統合にかかる住民説明会

【日程】

開催日	会 場	時 間
6月23日(月)	西根中学校体育館	各会場とも 午後6時30分 ～7時30分
6月25日(水)	西根第一中学校体育館	
6月26日(木)	松尾中学校体育館	

… 次 第 …

1 開 会

2 あいさつ

3 説明内容

- (1) 西根・松尾地区中学校生徒数の予測について … 資料1
- (2) 建設候補地選定の経過と今後の予定について … 資料2
- (3) 建設候補地と評価について … 資料3・4

4 その他

5 閉 会



(1) 西根・松尾地区中学校 生徒数の予測について

年度	令和7年度				令和8年度				令和9年度				令和10年度				令和11年度				令和12年度				令和13年度				令和14年度				令和15年度				令和16年度				令和17年度				令和18年度				令和19年度				
	R7.4生徒数				1年:6年生(R7.4)				1年:5年生(R7.4)				1年:4年生(R7.4)				1年:3年生(R7.4)				1年:2年生(R7.4)				1年:1年生(R7.4)				1年:5歳児(R7.4)				1年:4歳児(R7.4)				1年:3歳児(R7.4)				1年:2歳児(R7.4)				1年:1歳児(R7.4)				1年:0歳児(R7.4)				
	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計					
統合校	生徒数	134	137	144	415	99	134	137	370	128	99	134	361	130	128	99	357	112	130	128	370	107	112	130	349	101	107	112	320	102	101	107	310	75	102	101	278	88	75	102	265	73	88	75	236	60	73	88	221	51	60	73	184
	クラス数	4	4	4	12	4	4	4	12	4	4	4	12	4	4	4	12	4	4	4	12	4	4	4	12	3	4	4	11	3	3	4	10	3	3	3	9	3	3	3	9	3	3	3	9	2	3	3	8	2	2	3	7
西根中学校		84	81	65	230	61	84	81	226	69	61	84	214	78	69	61	208	74	78	69	221	65	74	78	217	63	65	74	202	63	63	65	191	53	63	63	179	60	53	63	176	38	60	53	151	40	38	60	138	34	40	38	112
西根第一中学校		17	17	37	71	0	17	17	34	33	0	17	50	21	33	0	54	16	21	33	70	21	16	21	58	25	21	16	62	20	25	21	66	9	20	25	54	14	9	20	43	14	14	9	37	9	14	14	37	12	9	14	35
松尾中学校		33	39	42	114	38	33	39	110	26	38	33	97	31	26	38	95	22	31	26	79	21	22	31	74	13	21	22	56	19	13	21	53	13	19	13	45	14	13	19	46	21	14	13	48	11	21	14	46	5	11	21	37

※ クラス数：1クラス 35人以内で試算

R7.4.1児童数、R7.4学級編制推計表

		6年生	5年生	4年生	3年生	2年生	1年生	5歳児	4歳児	3歳児	2歳児	1歳児	0歳児
西中学区	大更小学校	48	55	64	61	47	51	50	41	52	26	33	30
	田頭小学校	2	10	9	9	11	8	9	11	6	10	6	3
	平笠小学校	11	4	5	4	7	4	4	1	2	2	1	1
	計	61	69	78	74	65	63	63	53	60	38	40	34
一中学区	平館小学校	12	22	14	11	13	21	17	5	13	8	7	12
	寺田小学校	8	11	7	5	8	4	3	4	1	6	2	0
	計	20	33	21	16	21	25	20	9	14	14	9	12
松中学区	松野小学校	15	12	14	17	10	7	8	8	5	14	8	2
	寄木小学校	14	11	13	4	4	5	9	3	5	3	1	1
	柏台小学校	9	3	4	1	7	1	2	2	4	4	2	2
	計	38	26	31	22	21	13	19	13	14	21	11	5
合計		99	128	130	112	107	101	102	75	88	73	60	51

(2) 建設候補地選定の経過と今後の予定について

年度	月日	委員会等	協議事項(内容・意見)等
6		学校適正配置庁内検討委員会 第1回:令和6年5月15日 第2回:令和6年5月25日 第3回:令和6年6月6日 第4回:令和6年9月17日	○学校適正配置庁内検討委員会 (構成委員) 副市長、教育長、管理職など
		学校統合検討委員会 第1回:令和6年7月23日 第2回:令和6年10月18日	○学校統合検討委員会 (構成委員) 小中学校教職員、児童生徒の保護者、地域住民代表など
	10.28	市議会議員全員協議会	○建設候補地選定の経過及び予定について ○統合中学校建設候補地について ○建設候補地の評価基準について
	11.18 ～ 11.21	住民説明会 11月18日 松尾中学校 11月20日 西根第一中学校 11月21日 西根中学校	○参加者 ・松尾中:43人 西根一中:38人 西根中:47人 延べ:128人 ○主な意見 ・松尾中学校を建設候補地に加えてほしい。 ・統合まで8年は長すぎる。 ・小学校統合も急いでほしい。
	1.10	第2回総合教育会議	○総合教育会議 (構成委員) 市長、教育長、教育委員
	1.23	第5回学校適正配置庁内検討委員会	【協議内容等】 ○建設候補地の追加について ・住民説明会で松尾中学校を建設候補地に加えてほしいとの多くの意見を頂いたこと等により建設候補地とした。 ○建設候補地の絞り込みについて ・松尾中学校を加えた8候補地を4候補地に絞り込んだ。 ・絞り込み方法は、建設候補地の評価において、「教育環境(立地等)」、「教育環境(安全性等)」、「立地環境」、「整備環境」のそれぞれの評価項目毎に最も優先度が高い候補地を選定した。
	2.12	第3回学校統合検討委員会	
	3.18	市議会議員全員協議会	・これまでの経過説明
	3.21	第3回総合教育会議	・これまでの経過説明
7	5.1	学校適正配置庁内検討委員会	・今後の予定、建設候補地の評価等
	5.13	第1回学校統合検討委員会	・候補地の視察、今後の予定、建設候補地の評価等
	6.23 ～ 6.26	住民説明会 6月23日 西根中学校 6月25日 西根第一中学校 6月26日 松尾中学校	・4候補地への意見を伺う
	6月 ～		候補地選定作業
	10月	第2回学校統合検討委員会 学校適正配置庁内検討委員会	・4候補地の比較検討結果の意見を伺う
	1月	第3回学校統合検討委員会 学校適正配置庁内検討委員会	・優先候補地案を示し意見を求める
	2月	総合教育会議	・優先候補地の判断を頂く
	〃	優先候補地の決定	・優先候補地を決定する

(3) 統合中学校建設候補地と評価について

統合中学校建設候補地

No	候補地名	地区の特性	強み・優位点	考えられる課題等
1	市民センター西側	市民センターの西側に位置し、周辺は田畑で良好な日照確保ができる。岩手山を眺望できる。	(評価項目1) 南向きの校舎配置が可能であり、良好な日照確保が可能である。 (評価項目4) 生徒の多い大更地区に位置していることから、スクールバス利用生徒が少なく優位性がある。 (評価項目5) 新たな場所への建設であり駐車場、送迎スペース等安全に配慮した配置が可能である。 (評価項目6) 八幡平幹部交番、八幡平消防署まで近距離にあり生徒の安全・安心に優位性がある。	(評価項目2) 土地の状況(相続、権利設定)によっては土地取得までに数年かかる可能性がある。また、地質調査の結果によっては地盤改良の期間が必要になるなど開校まで8年以上かかる可能性がある。 (評価項目7) 岩手山火山泥流区域となっており、岩手山が噴火した場合は地域防災計画に基づき人的被害を防止するため警戒避難体制の整備が必要となる可能性がある。 (評価項目8) 用地交渉が必要となる。 (評価項目9) 開発許可、農振解除、農地転用等の手続きが必要となる。
2	総合運動公園付近	総合運動公園の南側に位置し、周辺は田畑・山林で良好な日照確保ができる。	(評価項目1) 南向きの校舎配置が可能であり、良好な日照確保が可能である。 (評価項目3) 部活動やスポ少活動に利用可能である、「総合運動公園」に近接しており優位性がある。 (評価項目5) 新たな場所への建設であり駐車場、送迎スペース等安全に配慮した配置が可能である。	(評価項目2) 土地の状況(相続、権利設定)によっては土地取得までに数年かかる可能性がある。また、地質調査の結果によっては地盤改良の期間が必要になるなど開校まで8年以上かかる可能性がある。 (評価項目8) 用地交渉が必要となる。 (評価項目9) 下水道の整備区域外であり浄化槽等の設備費用が増加する。また、開発許可、農振解除、農地転用等の手続きが必要となる。
3	現西根中学校	現在の西根中学校グラウンドに新校舎を建設する。	(評価項目2) 優先候補地の決定から概ね5年程度で開校できる。 (評価項目3) 送迎スペースとして利用可能であると共に、学習環境も整備されている交流複合施設に近接しており優位性がある。 (評価項目4) 生徒の多い大更地区に位置していることから、スクールバス利用生徒が少なく優位性がある。 (評価項目8) 市有地であり用地取得が不要である。 (評価項目9) 学校敷地内でありインフラ整備や土地規制等の許可が不要である。 (評価項目10) 用地取得や造成工事などが不要であり、工事費が節減できる。	(評価項目1) 校舎を現在のグラウンドに建設することとなり、校舎配置等に制約がある。 (評価項目5) 開校時には学校行事での保護者等の駐車場不足や生徒の送迎車両の不便が見込まれるが、開校後現校舎解体等により送迎スペース等の確保は可能である。 (評価項目6) 工事期間中のグラウンド利用の制約や安全確保に注意が必要である。 (評価項目7) 現校舎の一部が土砂災害警戒区域になっているが校舎の建設予定地は区域外であり対策を講ずる必要はない。現校舎の解体後の跡地利用方法によっては対策が必要となる可能性がある。
4	現松尾中学校	現在の校舎等の増改築を行い利用する。	(評価項目1) 既存校舎が南向きで良好な日照を確保している。 (評価項目2) 優先候補地の決定から概ね4年程度で開校できる。 (評価項目3) 部活動やスポ少活動に利用可能である、「アリーナまつお等」に近接しており優位性がある。また、送迎スペースとして利用可能であると共に、学習環境も整備されている松尾コミセンに近接しており優位性がある。 (評価項目8) 市有地であり用地取得が不要である。 (評価項目9) 学校敷地内でありインフラ整備や土地規制等の許可が不要である。 (評価項目10) 増改築工事を行い必要学級数を増やせば利用可能であり、工事費が節減できる。	(評価項目4) スクールバス利用率が約77%と見込まれ学校運営や乗降時の生徒の安全確保などへの支障が懸念される。また、スクールバス維持管理経費も高額な経費が見込まれる。 (評価項目7) 岩手山火山泥流区域となっており、岩手山が噴火した場合は地域防災計画に基づき人的被害を防止するため警戒避難体制の整備が必要となる可能性がある。 (評価項目10) 3校の生徒を合わせると12学級が必要となるが、現在の校舎は9学級であり、普通教室等の増改築が必要となる。

建設候補地位置図



評価項目	評価内容等	1 市民センター西側	2 総合運動公園付近	3 現西根中学校	4 現松尾中学校	比較結果等
1 建設用地	教育方針や総合計画等に柔軟に対応する校舎等の配置が可能であり、良好な日照が確保できるなど快適な教育環境を確保できるか。	40,000㎡程度の用地面積は確保できる。南向き校舎配置が可能であり、良好な日照確保は可能である。	40,000㎡程度の用地面積は確保できる。南向き校舎配置が可能であり、良好な日照確保は可能である。	40,000㎡程度の用地面積は確保できるが、既存施設等が障害となり施設整備に制限がある。南向きに校舎配置するためには、日照確保に一部制約がある。	40,000㎡程度の用地面積は確保している。南向きの校舎配置であり、良好な日照は確保している。	現西根中学校校舎は、校舎を現在のグラウンドに建設することとなり、校舎配置等に制約がある。 現松尾中学校校舎は、既存校舎が南向きで良好な日照を確保している。
2 開校予定年度	生徒数の減少により生じている教育や学校運営上の諸問題を解決するとともに教育環境の整備や教育の質の向上を図るため、早期の開校が可能であるか。	優先候補地の決定から概ね8年程度 R7決定：(R8～14)R15開校 基本計画、用地交渉：1年目 用地測量、基本設計：2年目 用地取得、造成設計：3年目 造成工事、実施設計：4年目 建築工事：5.6年目 外構工事：7年目 開校：8年目	優先候補地の決定から概ね8年程度 R7決定：(R8～14)R15開校 基本計画、用地交渉：1年目 用地測量、基本設計：2年目 用地取得、造成設計：3年目 造成工事、実施設計：4年目 建築工事：5.6年目 外構工事：7年目 開校：8年目	優先候補地の決定から概ね5年程度 R7決定：(R8～11)R12開校 基本計画、基本設計：1年目 実施設計：2年目 建築工事：3.4年目 開校：5年目	優先候補地の決定から概ね4年程度 R7決定：(R8～10)R11開校 基本計画、実施設計：1年目 改修(増築)工事：2.3年目 開校：4年目	市民センター西側案、総合運動公園付近案は用地交渉の期間を1年としているが、土地の状況(相続、権利設定)によっては用地取得までに数年かかる可能性がある。また、地質調査の結果によっては地盤改良の期間が必要となるなど、開校まで8年以上かかる可能性がある。
3 学校周辺に利用可能な公共施設等があるか	学校周辺に、部活動やスポ少等の利用可能な公共施設があるか。また、放課後など学校以外に生徒が保護者等の送迎を待つスペースは確保できるか。 ① 利用可能な公共施設 ② 送迎を待つスペースの確保	①総合運動公園まで約1.5kmであり、利用距離が若干遠距離にある。 ②西根地区市民センターまで約0.2kmであり、送迎スペースとして利用可能である。	①総合運動公園まで約0.6kmと近距離にあり、有効的な利用が可能である。 ②総合運動公園体育館までは近距離であり送迎スペースとして利用可能である。	①総合運動公園まで約2.2kmと若干遠距離にある。 ②交流複合施設、大更コミセンまで約1.0kmであり、送迎スペースとして利用可能である。	①アリーナまつお、B&G等まで約0.2kmと近距離にあり、有効な利用が可能である。 ②松尾コミセンまで約0.2kmであり、送迎スペースとして利用可能である。	部活動やスポ少活動に利用可能である「総合運動公園」や「アリーナまつお等」に近距離である総合運動公園付近案、現松尾中学校校舎が優位性がある。 交流複合施設に近接する現西根中学校校舎は、送迎スペースとして利用可能であると共に、学習環境も整備されており優位性がある。
4 スクールバス運行見込み台数と維持管理費	スクールバス利用生徒数・利用率 ・開校予定年度ごとに試算 ・建設予定地～各小学校までの距離を一定割合で試算(運行台数は現在の運行車両の平均乗車定員:32人で試算) 6km以上：児童数 100% 5km以上～6km未満:児童数 80% 4km以上～5km未満:児童数 60% 3km以上～4km未満:児童数 40% 2km以上～3km未満:児童数 20% 2km未満：児童数 10%	R15.4開校時の生徒数:278人(9クラス) スクールバス利用率・生徒数 36.7% 102人 大更小(142人)2.8km 20%=28人 田頭小(28人)2.1km 20%=6人 平笠小(9人)2.6km 20%=2人 平舘小(43人)3.5km 40%=17人 寺田小(11人)7.8km 100%=11人 松野小(23人)6.0km 100%=23人 寄木小(17人)4.0km 60%=10人 柏台小(5人)10.4km100%=5人 利用数:102人/32人乗=3.2 ≒4台 スクールバス維持管理費 R7西根地区のスクールバス設計額で試算 61,800千円/5台×1.2=14,832千円/年 ※1.2:遠距離加算1台当たり15,000千円/年	R15.4開校時の生徒数:278人(9クラス) スクールバス利用率・生徒数 61.9% 172人 大更小(142人)3.2km40%=98人 田頭小(28人)3.5km 40%=11人 平笠小(9人)4.5km 60%=5人 平舘小(43人)2.6km 20%=9人 寺田小(11人)5.9km 80%=9人 松野小(23人)5.6km 80%=18人 寄木小(17人)6.0km 100%=17人 柏台小(5人)12.7km100%=5人 利用数:172人/32人乗=5.4 ≒6台 スクールバス維持管理費 6台*15,000千円=90,000千円/年	R12.4開校時の生徒数:349人(12クラス) スクールバス利用率・生徒数 37.8% 132人 大更小(172人)1.3km10%=17人 田頭小(29人)1.1km 10%=3人 平笠小(16人)2.2km 20%=3人 平舘小(38人)4.4km 60%=23人 寺田小(20人)7.7km 100%=20人 松野小(41人)6.3km 100%=41人 寄木小(21人)4.5km 60%=13人 柏台小(12人)11.0km100%=12人 利用数:132人/32人乗=4.1 ≒5台 スクールバス維持管理費 5台*15,000千円=75,000千円/年	R11.4開校時の生徒数:370人(12クラス) スクールバス利用率・生徒数 77.3% 286人 大更小(180人)7.2km 100%=180人 田頭小(28人)5.3km 80%=22人 平笠小(13人)6.4km 100%=13人 平舘小(47人)4.8km 60%=28人 寺田小(23人)8.7km 100%=23人 松野小(43人)2.3km 20%=9人 寄木小(28人)1.5km 10%=3人 柏台小(8人)7.1km 100%=8人 利用数:286人/32人乗=8.9 ≒9台 スクールバス維持管理費 9台*15,000千円=135,000千円/年	市民センター西側案と現西根中学校校舎は、生徒の多い大更地区に位置していることからスクールバス利用生徒が少なく優位性がある。 現松尾中学校校舎は、スクールバスの利用率が約77%と見込まれ、学校運営や乗降時の生徒の安全確保などへの支障が懸念される。また、スクールバス維持管理費も高額な経費が見込まれる。 【R6の運行状況】 ・西中2台(20人) 1台は大更小と兼用 ・一中1台(1人) 寺田小と兼用 ・松中4台(29人) 2台は松野小、2台は寄木小と兼用
5 スクールバス等自動車の出入りや安全確保	スクールバス、自動車等の安全確保や駐車スペース等は確保できるのか ①学校行事等の保護者等の駐車スペースは確保できるか。 ②スクールバスや自家用車で生徒を送迎する場合の安全確保ができるか。	①新たな場所への建設であり十分な駐車場等の確保は可能である。 ②新たな場所への建設であり生徒の送迎等の利便性、安全確保は可能である。	①新たな場所への建設であり十分な駐車場等の確保は可能である。 ②新たな場所への建設であり生徒の送迎等の利便性、安全確保は可能である。	①②現在の駐車場では不足が見込まれるが、現校舎解体後の利用や旧西根病院の跡地を利用することにより確保は可能である。	①隣接する松尾コミセン等に十分な駐車場を確保している。 ②生徒の送迎等の利便性、安全性は確保している。	市民センター西側案、総合運動公園付近案は、新たな場所への建設で駐車場等安全に配慮した配置は可能である。また、現松尾中学校校舎は、既存施設で対応可能である。 現西根中学校校舎は、開校時には学校行事等で保護者等の駐車場不足や生徒の送迎車両の不便が見込まれるが、開校後現校舎を解体することで送迎スペース等の確保は可能である。

評価項目	評価内容等	1 市民センター西側	2 総合運動公園付近	3 現西根中学校	4 現松尾中学校	比較結果等
6 学校生活・生徒の安全確保	学校生活における生徒の安全・安心の確保、工事期間中の安全確保は可能であるか。 ①警察署、消防署、病院までの距離(2km以内) ②工事期間中の学校運営への影響や生徒への安全配慮が可能であるか。	①八幡平幹部交番、八幡平消防署まで約0.4kmと近距離にあり、生徒の安全・安心が確保できる。 ②新たな場所への建設であり、学校運営への影響がなく、生徒への安全配慮の必要がない。	①八幡平幹部交番、八幡平消防署まで約1.2kmの距離にあり、生徒の安全・安心は概ね確保できる。 ②新たな場所への建設であり、学校運営への影響がなく、生徒への安全配慮の必要がない。	①八幡平幹部交番、八幡平消防署まで約1.5kmの距離にあり、生徒の安全・安心は概ね確保できる。 ②学校敷地内への建設であり、学校運営や生徒の安全確保に注意が必要である。	①松尾駐在所まで約1.9km、消防署松尾出張所まで約2.0kmの距離にあり、生徒の安全・安心は概ね確保できる。 ②増改築が必要であり学校運営や生徒の安全確保に多少の注意が必要である。	市民センター西側案は、八幡平幹部交番・八幡平消防署まで最も近距離にあり優位性がある。 現西根中学校案は、グラウンドの一部に校舎を建設する案であり、工事期間中のグラウンド利用の制約や安全確保に注意が必要となる。
7 自然災害に対する安全性	土砂災害等警戒区域や岩手山火山泥流区域など自然災害に対して安全性が高い候補地であるか。	岩手山火山泥流区域となっており、岩手山が噴火した場合は地域防災計画に基づき人的被害を防止するため警戒避難体制の整備が必要となる可能性がある。	岩手山火山泥流や土砂災害に対して安全性が高い。	現校舎敷地の一部が、土砂災害警戒区域となっているが校舎の建設予定地は区域外であり対策を講ずる必要はない。現校舎解体後の跡地利用方法などによっては対策が必要になる可能性がある。	岩手山火山泥流区域となっており、岩手山が噴火した場合には地域防災計画に基づき人的被害を防止するため警戒避難体制の整備が必要となる場合がある。	岩手山火山泥流や土砂災害に対しては総合運動公園付近案が最も優位であるが、他の3候補地の「岩手山火山泥流区域」「土砂災害警戒区域」について建築規制や対策が必要となるものではない。
8 用地取得	用地取得が容易であるか。	地権者約10名 (うち相続あり:約2名)	地権者約9名 (うち相続あり:約2名) (市外居住者:約2名)	市有地	市有地	現西根中学校案と現松尾中学校案は、市有地であり用地取得が不要である。
9 インフラ整備や土地規制等	インフラ整備や土地規制の許可が容易であるか。 ①インフラ整備が必要であるか。 ・用地造成の有無 ・接続道路の有無 ・上下水道整備の有無 ②土地規制の許可が容易であるか。 ・開発許可の有無 ・林地開発許可の有無 ・地域計画除外の有無 ・農振解除の有無 ・農地転用の有無 ・埋蔵文化財の有無	①インフラ整備の有無 ・用地造成 :必要 ・接続道路 :不要 ・上下水道 :整備済 ②土地規制の許可の有無 ・開発許可 :必要 ・林地開発許可:不要 ・地域計画除外:必要 ・農振解除 :必要 ・農地転用 :必要 ・埋蔵文化財 :該当なし、試掘必要	①インフラ整備の有無 ・用地造成 :必要 ・接続道路 :不要 ・上下水道 :下水道未整備 ②土地規制の許可の有無 ・開発許可 :必要 ・林地開発許可:必要 ・地域計画除外:必要 ・農振解除 :必要 ・農地転用 :必要 ・埋蔵文化財 :該当なし、試掘必要	①インフラ整備の有無 ・用地造成 :不要 ・接続道路 :不要 ・上下水道 :整備済 ②土地規制の許可の有無 ・開発許可 :不要 ・林地開発許可:不要 ・地域計画除外:不要 ・農振解除 :不要 ・農地転用 :不要 ・埋蔵文化財 :該当なし	①インフラ整備の有無 ・用地造成 :不要 ・接続道路 :不要 ・上下水道 :整備済 ②土地規制の許可の有無 ・開発許可 :不要 ・林地開発許可:不要 ・地域計画除外:不要 ・農振解除 :不要 ・農地転用 :不要 ・埋蔵文化財 :該当なし	総合運動公園付近案は、下水道の整備区域外であり浄化槽等の設備費用が増加する。 現西根中学校案と現松尾中学校案は、学校敷地内でありインフラ整備や土地規制等の許可が不要である。 【土地規制の許可期間】 ・林地開発:10ha未満(70日) ・農振解除:2ha以上(12ヶ月以上)年1回受付、事前審査有り ・農地転用:4ha以下(約2ヶ月) ・開発許可は、農振解除・農地転用と並行して手続が可能でありそれぞれの期間
10 建設工事費及び建設財源	建設工事費 ・盛岡広域で直近に建設した新校舎の参考に試算 ・普通教室:12室+特別教室3室=15室として試算 ・プールは建設しないことで試算 建設財源 ・市民センター西側案と総合運動公園付近案は、概ね40億円として試算 ・現西根中学校案は、概ね30億円として試算 ・公立学校施設整備費補助金は、1/2補助であるが事業費に限度額があり限度額を50%として試算	用地測量等 20,000千円 用地取得等 103,000千円 造成設計・造成工事 362,000千円 基本設計・実施設計 108,000千円 建築工事 2,990,000千円 (校舎、体育館)※プール除く 工事監理費 30,000千円 外構・グラウンド工事 250,000千円 合計 3,863,000千円 公立学校施設整備補助金 10億円 学校教育施設等事業債 9億円 一般財源(補助裏分) 1億円 一般財源(単独分) 20億円 ※一般財源(単独分)は過疎債活用 ※地方債後年度交付税参入率 ・学校教育施設等事業債:66.6% ・過疎債:70%	用地測量等 20,000千円 用地取得等 103,000千円 造成設計・造成工事 362,000千円 基本設計・実施設計 108,000千円 建築工事 2,990,000千円 (校舎、体育館)※プール除く 工事監理費 30,000千円 外構・グラウンド工事 250,000千円 合計 3,863,000千円 公立学校施設整備補助金 10億円 学校教育施設等事業債 9億円 一般財源(補助裏分) 1億円 一般財源(単独分) 20億円 ※一般財源(単独分)は過疎債活用 ※地方債後年度交付税参入率 ・学校教育施設等事業債:66.6% ・過疎債:70%	用地測量等 0千円 用地取得等 0千円 造成設計・造成工事 0千円 基本設計・実施設計 85,000千円 建築工事 2,386,000千円 (校舎、柔剣道場、接続廊下) 工事監理費 24,000千円 外構・グラウンド工事 48,000千円 既存校舎解体工事 435,000千円 合計 2,978,000千円 公立学校施設整備補助金 7.5億円 学校教育施設等事業債 6.7億円 一般財源(補助裏分) 0.8億円 一般財源(単独分) 15.0億円 ※一般財源(単独分)は過疎債活用 ※地方債後年度交付税参入率 ・学校教育施設等事業債:66.6% ・過疎債:70%	3校の生徒を合わせると12学級が必要となるが、現在の校舎は9学級の校舎であり、普通教室等の増改築が必要となる。 不足分を増築するのか、現校舎も含めて改修するのかによって増改築の費用が相当差があるが、体育館等既存施設も利用可能であることから新たに建設するよりは安価になる。 ・左記の計算式で仮試算 事業費10億円とした場合 一般財源:5.5億円 事業費20億円とした場合 一般財源:11億円	学校敷地を利用する現西根中学校案と既存施設を活用する現松尾中学校案は優位性がある。 ・この試算で満額財源措置できた場合には、40億円のうち実質一般財源が10億円、30億円では7.5億円と試算される。